


事業者名	静岡県								
機器名	音響透過損失・残響室法吸音率測定システム								
写真									
特徴・用途	近年、快適な音環境が求められている自動車について、内外装材料の遮音性能と吸音性能を測定する。								
設置場所	静岡県工業技術研究所								
利用状況	年月	稼働日数 (日)	依頼試験・ 依頼分析 (件)	技術指導 (件)	試験設備貸出・利用		受託研究・ 共同研究 (件)	その他 (件)	利用件数 計(件)
					件数(件)	時間(時間)			
	平成29年4月	15	22	37	0	0	71	0	130
	平成29年5月	14	33	42	0	0	23	0	98
	平成29年6月	12	11	32	0	0	4	0	47
	平成29年7月	10	0	27	0	0	54	0	81
	平成29年8月	10	2	18	0	0	30	0	50
	平成29年9月	11	29	23	0	0	18	0	70
	平成29年10月	11	15	21	0	0	21	0	57
	平成29年11月	12	39	50	0	0	3	0	92
	平成29年12月	10	8	21	0	0	20	0	49
	平成30年1月	11	18	43	0	0	3	0	64
	平成30年2月	8	27	32	0	0	3	0	62
平成30年3月	11	3	22	0	0	40	0	65	
利用者等の声	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 県内の機関で高精度な音響透過損失の測定を実施出来る様になって有難い。県外にあるJIS規格の認証機関における測定は、費用や試験体準備に関して大掛りな実験となるため、製品開発段階での測定に適さない。</li> <li>2. 自社で設備を保有することは難いため、必要な時に依頼したい。自動車メーカーの要望で、開発した自動車内装材料の残響室法吸音率を測定する必要があるため、今後も利用したい。</li> <li>3. 以前から利用しているが、新たな機器が導入されたので今後も活用したい。</li> <li>4. 開発中の吸音材料を自動車内外装材料に展開したいので残響室法吸音率を測定したい。</li> <li>5. 残響室法吸音率の測定を他機関で実施したが、同じ試料について静岡県で再測定をしたところ良好な結果が得られた。</li> <li>6. 本社研究開発部門から残響室法吸音率を静岡県で測定したことを聞いて、当事業部でも実施したい。</li> <li>7. 静岡県で残響室法吸音率を測定した関連企業からの紹介で、当社も測定したい。</li> </ol>								
補助事業概要 の広報資料	<a href="http://hoio.keirin-autorace.or.jp/shinsei/document/list/kikai/h28/pdf/28-070koho.pdf">http://hoio.keirin-autorace.or.jp/shinsei/document/list/kikai/h28/pdf/28-070koho.pdf</a>								

事業者名	静岡県								
機器名	熱分析装置								
写真									
特徴・用途	本機器は、試料の温度を変化させながら、その重量変化や入出熱量を測定することにより、試料が持つ熱特性を評価する。輸送用機器部品に使用される材料の耐熱性や耐寒性等の評価等に使用する。								
設置場所	静岡県工業技術研究所								
利用状況	年月	稼働日数 (日)	依頼試験・ 依頼分析 (件)	技術指導 (件)	試験設備貸出・利用		受託研究・ 共同研究 (件)	その他 (件)	利用件数 計(件)
	平成28年12月	12	0	0	0	0	8	7	15
	平成29年1月	5	0	0	3	18	1	1	5
	平成29年2月	11	0	0	9	56	2	3	14
	平成29年3月	10	0	0	12	82	0	3	15
	平成29年4月	19	0	4	8	46	5	2	19
	平成29年5月	13	0	0	3	16	6	4	13
	平成29年6月	14	0	0	12	74	2	0	14
	平成29年7月	14	0	1	10	69	3	0	14
	平成29年8月	17	0	0	13	88	4	0	17
	平成29年9月	10	0	0	5	33	3	2	10
	平成29年10月	16	0	1	10	65	2	3	16
	平成29年11月	15	0	0	8	56	3	4	15
	平成29年12月	10	0	0	4	18	3	3	10
	平成30年1月	8	0	2	6	42	0	0	8
	平成30年2月	14	0	2	12	84	0	0	14
	平成30年3月	3	0	1	2	11	0	0	3
利用者等の声	<ul style="list-style-type: none"> <li>・温度制御の性能が向上しており、迅速かつ精度良く試験できるようになった。単位時間あたりの試験数が増えたため、研究開発のスピードアップに繋がった。</li> <li>・制御プログラムが使いやすく、ストレスなく使用できる。</li> <li>・比熱測定で得られた数値が文献値と見事に一致しており、感激した。</li> <li>・高温領域の測定精度が、従来の機種より向上しており、満足いくデータが得られた。</li> <li>・微妙なピークが検出できるため、従来では、判定できなかった樹脂製品のトラブル解決に役だった。</li> </ul>								
補助事業概要 の広報資料	<a href="http://hojo.keirin-autorace.or.jp/shinsei/document/list/kikai/h28/pdf/28-070koho.pdf">http://hojo.keirin-autorace.or.jp/shinsei/document/list/kikai/h28/pdf/28-070koho.pdf</a>								